

## 第5期武蔵野市情報公開委員会（第1回）会議要録

- 日 時 平成17年10月21日 午後6時00分～8時10分
- 場 所 市役所607会議室
- 出席者 委 員 7名  
市 長  
事務局 4名

### 会議内容

#### 1 委嘱状交付

市長より、増山委員、遠藤委員、金網委員、向井委員、西上原委員、高田委員、南出委員の順に委嘱状を交付。

#### 2 市長あいさつ

市長の邑上です。就任してまだ十何日かということであり、日々いろいろな新しい経験をしている中で、今回、初めてのこのような委員会に参加させていただいております。

今日から2年間ということで、皆様には情報公開委員をお願いすることになりますが、私も政策の公約の中で、徹底した情報公開を1つの柱としました。市民が主役の市政運営ということも柱にしており、そのためには、やはり市の情報をなるべく市民の方に理解いただきたい、知っていただきたいということがございます。情報公開と市民参加というのは、表裏一体という思いがあります。ただ、必要に応じて、個人の情報は守らないといけないという中で、どういうところまで一体市民にわかりやすく伝えていくべきかを含めて、いろいろな面で委員の方にもどういう形がよろしいかをご審議していただきたいと思っております。またその都度、いろいろなことをお願いするかもしれませんが、どうぞ2年間、よろしくお願いします。

#### 3 委員の自己紹介

**増山委員：** 慶應大学法学部教授の増山幹高と申します。政治学を担当しており、特に今、議会政治ですとか立法活動といったことを研究しております。私は9月まで成

蹊大学法学部に所属しており、そちらの関係から長期計画策定に参加させていただきまして、この情報公開委員会のほうも参加依頼がありました。武蔵野市には6年半ほど住まわせていただいた恩返しで参加させていただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

**遠藤委員：** 市役所のOBで、現在は財団法人武蔵野健康開発事業団の理事長を務めております。以前、市役所に在籍したときに、こうやって委員の方をお願いに回ったことがございまして、それ以来、結構たっておりますから、あまりお役に立つかどうかわかりませんが、よろしく願いいたします。

**金網委員：** 千代田区神田小川町で社会保険労務士をしております。地元は何の接点もなかったものですから、少しは市民活動にお役に立ちたいなと思って、広報を見て応募しました。何十人の方が応募されると思って、委員になると思っていなかったんですが、応募者が2人ということで、入選者が2人と聞いたときはびっくりするやら安心するやらでおるところです。

**向井委員：** フリーのライターをしておりますが、4年前に「まなこ」の編集長を4年間務めさせていただきました。男女の平等の視点から雑誌をつくってきたんですが、今回はまた情報の公開ということで、お役に立てればと思っております。

**西上原委員：** 一般市民として武蔵野市に住んで30年、前は千代田区にいたんですけども、千代田区にいれば、こんなに地域にかかわったかというくらい関心事がたくさんありまして、一般市民として、それなりの課題を自分の目で見ながら、また学校にもかかわって、学校でも情報公開というのがすごく難しい面があるので、一般市民に向けて、情報提供していきたいと思っています。

**高田委員：** 私は、選挙管理委員を2期務めまして、去年から明るい選挙推進協議会委員というボランティアをまた始めました。それから、女性問題でヒューマン・ネットワークセンターの運営委員として働いております。

**南出委員：** 武蔵野市の市民法律相談を担当させていただいています。昭和51年から吉祥寺で29年間事務所を開設してやってまいりましたが、この4月に千代田区麴町のほうに移りました。武蔵野市とは長いつき合いがございまして。条例の改正のときにも参画させていただきました。

#### 4 事務局の自己紹介

企画政策室長をはじめ出席職員の自己紹介を行う。

<市長退席>

## 5 議事

### (1) 委員長及び副委員長の互選

事務局が情報公開委員会規則に基づく委員長及び副委員長の選出方法及びその職責について説明。

委員： 今までは委員長、副委員長はどなたが務めていたのですか。

事務局： 委員長は学識経験者の勝田委員、副委員長は市役所OBで前健康開発事業団理事長の飯島委員が務めておられました。今期の委員で委員長、副委員長の経験者はございません。

委員： 前期の委員会では、委員長が大学の先生、副委員長が市役所OBの委員がされていたということですので、できれば同じやり方でいかがでしょうか。

事務局： そうしますと、委員長には慶應大学の増山委員、副委員長には健康開発事業団理事長の遠藤委員というご推薦があったということでもよろしいでしょうか。委員のみなさま、いかがでしょうか。拍手でご確認いただきたいと思います。

( 拍 手 )

※ 出席委員全員の合意により、増山委員を委員長に、遠藤委員を副委員長に選出。

増山委員長： 若輩者ですけれども、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

遠藤副委員長： 委員長を補佐するだけの力があればよろしいのですが、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

### (2) 会議運営について

事務局が当日配布資料⑧「武蔵野市情報公開委員会の運営に関する確認（案）」を説明。

委員長： 会議の長さはどれくらいですか。

事務局： おおむね1時間半から2時間です。

委員： 会議要録ですが、話し言葉が多いというのと、形態もばらばらなので、やはり公開する以上は、きちっとしたほうがいいと思います。要録ということで、

「何々ですよね」というような記載にはせずに、もっとシビアな形のほうがいいです。要点をまとめて、もうちょっと簡略化したほうがいいと思います。会議のテープをかなり忠実に起こそうと考えているので、口語調になっていると思いますが、要録なのでですから口語調でなく、役所言葉に近くなってもリアリティーがないですが、簡略な言葉にしてもいいという気はします。

**事務局：** わかりました。今回の分を試しにもう少し簡素化して、口語調ではなく、「ある」とか「だ」とかという語尾にすると偉そうな感じがしますので、ですます調で、できるだけ要約をして、でき次第、遅くとも次回までに全員の方にご覧いただくようにします。それでまた、ご意見をいただきながら、あるべきスタイルを模索していきたいと思います。

**委員長：** 自分がどういう発言をしたか、議事録にどう載るかは、重要な問題だと思います。これからこの委員会がどういう議論になるかわからないですが、多少は冗談が言える会議にはしたいと思っていますので、どういう発言がどういうふうに乗っているのかわかれば安心です。全委員に会議要録（案）を配付していただいて、チェックしていただいた上で公開をしたいと考えます。

**委員：** 委員に会議要録（案）を送るときは、発言者の名前を入れてもいいと思います。

**事務局：** すべての発言について、録音テープから委員を特定することは厳しいかもわかりませんが、出来るだけ掲載していきたいと思います。

**委員：** 委員の発言は責任を問われるのですか。

**事務局：** この委員会は、情報公開を推進するための提言、審議をするのが目的です。その提言等があまりにも貧弱ではないかというご批判はあるかもしれませんが、個々の委員が何か責任を問われるというようなものではないと思います。ある種、権力行使の一端にはかかわるわけですが、提言等を実行するかどうかは、市長なり市役所の全体の責任の問題ですから、最終的な責任は市長が選挙で問われる等によることとなるのではないかと思います。

### (3) 本市の情報公開制度について

事務局が当日配布資料⑨「武蔵野市の情報公開制度について」を説明。

<質疑応答はなし。>

(4) 平成17年度第2四半期の開示等状況について

事務局が当日配布資料⑩「平成17年度行政文書開示請求及び不服申立等の状況」を説明。

<質疑応答はなし。>

(5) 平成18年1月以降のC I Mコラムのテーマについて

事務局が当日配布資料⑫「C I Mコラム掲載状況（分野別）」及び同⑬「平成17年度主な事業一覧」を説明

委員長： 1月から3月のテーマ、3つということですね。今日この場で決めなければいけませんか。

事務局： ご意見をいただいて、その後またお時間を設定させていただいて、優先順位を各委員につけていただき、優先順位の高い順に対応するというやり方もあるかとは思いますが。

委員長： 事後的に持ち回りなり、やりとりをして、3つに絞るという形で考えるというやり方ですね。

委員： 私は、平成14年まで長い間C I Mを書かせていただきましたが、やはり市民の知りたいことは、税金の使われ方という気がします。イベントの情報等は、いろいろなところで紹介されているので。最近の朝日新聞で、新しい市長は退職金を今までの1,700万から、500万に減らし、市議会議員の報酬も切り下げるという記事が出ていました。その1,700万円という金額がどうなのか、また500万にする理由というのが全くわかりませんので知りたいと思います。市長の退職金も、議員の報酬も税金で賄われているわけですから、当然市民が知ってもいいのではないかと思います。

事務局： その記者会見の議題は3つありましたが、議員報酬には触れていません。1点目は市長交際費の支出抑制についてです。従来年間550万円以上だったものを5分の1以下の100万円程度に抑えるというものです。2点目は、市長の退職金の引き下げについてで、現行、任期4年間で1,700万円ぐらいの退職金を民間の基準からすると高過ぎるのではという理由で、新市長は500万円程度に引き下げるため、12月議会で市長の退職手当の条例改正をしたいと

いうことでした。3点目は、従来の「市長と語る会」を「タウンミーティング」や「ワークショップ」みたいな形式にリニューアルし、地域の課題について、市民の目線で市民と市長が双方向で話し合いをしていきたいというものでした。また開催頻度も今までの年4回から年8回にし、2年間ですべてのコミュニティを回るようにしていきたいとのことでした。

**委員：** それから、指定管理者に関する情報も市民に提供していくことが必要であると思います。前にCIMで外郭団体の補助金の問題を一覧表にして出しましたが、やはりそういうことをCIMで出さなければ、CIMの意味はないと思います。そういうことをCIMで取り上げていただければ、市民の中にも信頼感が生まれてくるでしょうし、また、外郭団体も積極的な情報提供に努めていくという姿勢になっていくと思います。市民にも情報が提供されなければ、意見は出てこないと思いますので、かたいテーマになりますけれども、お願いしたいと思います。

**委員長：** 新しい市長の施政方針に関して、武蔵野市報のトップに出ないような側面にスポットをあてるというようなことが1つ考え方かなと思います。前の委員会で出たテーマで漏れたものがありますか。

**事務局：** 「武蔵野地域自由大学」、「外国人の方へのサービス」、「市長への手紙」について取り上げてはいかがかというご意見がありました。

**委員：** 市長の市政方針については、正月元旦号に掲載されるのではないかと思います。ですから自由大学のことを2月中旬ころになったら取り上げるのもいいと思います。

**委員：** 指定管理者については、例えば、コミュニティ条例が指定管理者制度との関係でどう変わってきつつあるのかという取り上げ方もできるのではないですか。

**委員長：** 指定管理者制度の紹介をコミセンとの関係で書いていただく。あと武蔵野自由大学。それから市長への手紙とか、市長が市民と対話のあり方みたいところはイコールで考えたほうがいいでしょう。そして外国人サービス。これで5個ぐらいになります。

**事務局：** それでは、皆さんからのご希望として5つの課題をいただいたということで、事務局と執筆者の方で精査させていただきたいと思います。

## 6 その他

- (1) 次回委員会の議題について事務局から次の3点を提案した。
- ① 平成18年10月までのC I Mコラムのテーマについて
  - ② ホームページのリニューアル（平成18年1月実施予定）について
  - ③ よくある質問Q&Aについて
- (2) 会議での事務局の座席について委員から意見が出され、原則として委員長と対峙するように着席することとなった。

※ 次回は、平成18年2月3日（金）に消費生活センター講座室で開催することになった。

### 【当日配布資料】

- ① 武蔵野市情報公開条例
- ② 武蔵野市情報公開条例施行規則
- ③ 武蔵野市情報公開委員会規則
- ④ 武蔵野市情報公開・個人情報保護審議会規則
- ⑤ 武蔵野市情報公開事務取扱要綱
- ⑥ 情報公開事務の手引<新任委員のみ>
- ⑦ 武蔵野市個人情報保護条例の解釈・運用の手引き<新任委員のみ>
- ⑧ 武蔵野市情報公開委員会の運営に関する確認（案）
- ⑨ 武蔵野市の情報公開制度について
- ⑩ 平成17年度行政文書開示請求及び不服申立等の状況
- ⑪ C I Mコラム集
- ⑫ C I Mコラム掲載状況（分野別）
- ⑬ 平成17年度主な事業一覧
- ⑭ 武蔵野市第四期基本構想・長期計画<新任委員のみ>
- ⑮ 季刊むさしの・2005・秋号